



●文芸雑誌『断層』と俳誌『若鮎』

ミニ
企画展

皆野の俳句

戦前編

期間 10月4日(月)～29日(金)
場所 役場ロビー

大正からはじまった皆野の俳句の歴史を見る。

令和3年2月4日、金子伊昔紅氏の住宅兼医院であった旧壺春堂醫院主屋・土蔵が国の登録有形文化財に登録されたことをきっかけに収蔵資料の整理が開始され、俳誌や日記、色紙などが次々と見つかりました。

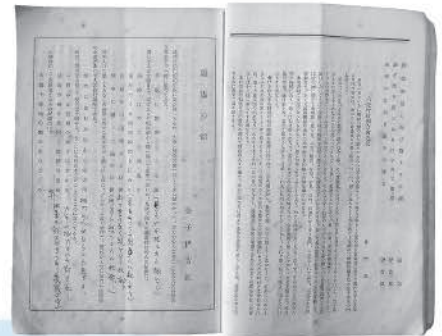
本企画展では、皆野に近代俳句が誕生した大正時代から、伊昔紅が没する昭和47年までを対象に、皆野の俳句の歴史を5回に分けて紹介します。

第1回の戦前編では、上海時代に伊昔紅が『断層』に掲載した「驢馬の鈴」にはじまり、昭和7年の俳誌「若鮎」創刊を経て、昭和16年の京大俳句事件までの約15年間について、町内外の俳人や団体との交流に焦点をあてて紹介します。

第2回は戦中編として、南洋群島と大陸に出征した金子兜太と塩谷孝に焦点をあて、戦時下の俳人の姿を追う予定です。



●俳誌『馬酔木』と『初鴨』



●「驢馬の鈴」(『断層』所収)
(一 皆野俳句の黎明)



武笠 美人蕉
宮前 百鈴
篠田 健二郎
岩崎 堅香子
水原 秋櫻子
野口 宗三郎
湖 夜 荒
金子 伊昔紅
井田 小 耳
名人 M 氏

●秋櫻子の長瀬来訪(『初鴨』所収)
(三 君と漕ぐ)



●俳誌『土上』



●俳誌『耕人』・『絡車』
(二 若鮎跳梁)

問合せ 教育委員会 社会教育担当 ☎62-4563

※企画展の内容はデジタルミュージアムにも掲載します。
<https://www.town.minano.saitama.jp/haikunomachi/>